



## 岬町議会議員 まつお ただし

# 松尾 匠

松尾 匠 岬町 循環型



ホームページ

<http://t-matsuo.net>

Eメール・ホームページでご意見等お待ちしております!

072-494-0063

mail@t-matsuo.net

松尾 匠

主な経歴  
プロフィール

岬中学校PTA 会長（現在） 淡輪小学校PTA 会長 岬町子ども会連絡協議会 理事  
大阪府商工会青年部連合会 副会長 岬町商工会青年部 部長

S50年、岬町生まれ。大学卒業後、メーカーで東京や大阪にて新製品の開発やデザイン設計等、商品のプロデュースやマーケティングに従事。  
H24年、IT・デザイン等を制作する株式会社オルタナティブを設立。H25年、町に多くの社会的課題に気づき、「自分たちの町は自分たちで創る」  
「町の課題をビジネスモデルにて解決する」NPO法人Re-Live（リライヴ）を設立。町内の休耕地を整備し、本物の無農薬有機野菜をパソコン  
やスマホ等のボタン操作で遠隔栽培できる「リモコン農園」や体験農園、体験型観光ツアー等を企画・実施。同時に障害者就労継続支援A型  
B型事業所「いにしき」、放課後等デイサービス「ちょいす」を設立し、障がい者が社会参加できる、新たな仕組みを創出し、町の課題解決と  
活性化、仕事・雇用創出に取組む。H27年の選挙にて初当選。議員7年目を活動中。



みさき公園の閉園

海風館の休館  
行政サービスの低下

税収激減

ついに  
国が認定へ 岬町は 過疎地域に…

商工・産業の衰退 仕事・雇用の喪失 庁舎建替の問題 国や府からの借金増 若者の流出 航路の不採算 町の閉塞感  
若手町職員の離職増 公園管理の問題 ふるさと納税の激減 企業の撤退 空き家・休耕地の増加 バス運営費の高騰

「過疎地域」とは?

「人口の著しい減少に伴って地域の活力が低下し、生産能力や生活環境の整備などが他の地域と比べて低レベルにある地域」と法律で規定され、法律で定める期間に「人口減少率」や「財政力指数の減少」などの要件に当てはまる市町村のこと。

ここまで町を衰退させた今の町政に未来はあるか?!

この“過疎認定”は、現在の町政が、町を衰退させたという事実を示すものです。

このままでは人が減り、税収が減ることで町の機能を維持することが困難となり、私たちの岬町は、一層「住みにくい町」へと向かいます。そんな今の町政で本当に大丈夫なのか?!  
今号は、松尾が3月議会で問い合わせて明らかにした、現町政の「真実」を報告します!!



次ページへGO!

# 今の町政、本当に大丈夫か？！

R3年3月議会  
一般質問

## 松尾がズバリ本質を厳しく問う

町の指針を示すR3年度の行政運営方針は、本当に住民や岬町に訪れる方が求めていることを反映しているのか？「岬町に求められるまちづくりの本質」を問いました。



Check①

### 「みさき公園の価値」の捉え方に問題あり！

多額の固定資産税収入を失い、逆に公園の維持管理に多額の税金を費やしているのに「資産が増えた」と答弁する町行政



松尾

町行政がみさき公園の土地を町のものにした時点で、今まで町に入っていたみさき公園の固定資産税が失われたが、それはいくらになるのか？



法人の情報は秘密を守る義務により答えられない。なお、土地の無償譲渡により町の資産が増加した

新みさき公園の事業者を決める時に、応募事業者の事業提案を住民に明らかにして、住民投票などをするれば、民意を反映した公園となるが、そうしないか？



既に民意を反映させた上で選定手続きを行っているので、その案は取り入れない

存続の道を町行政が閉ざし、閉園となって1年が過ぎた「みさき公園」。私は公園の今後より良い継承について毎回町行政に提言していますが、今回は「みさき公園の土地の町有化による町税収の影響」を問いました。

「固定資産税」は、所有する土地や建物にかかる税金です。この**固定資産税は数少ない、町に直接入る税金**であり町の貴重な収入源です。そこで疑問は、広大なみさき公園にかかっていた固定資産税はどうなったのか？！結論は、**みさき公園の固定資産税収入はもうありません**。町のものとなったので税金を支払う人はいなくなりました。一体どれほどの税収が失われたのかは、上記の回答の通りですが、注目は**「資産が増えた」と町行政が発言したこと**です!! これは以前、町長も発言していました。

しかし!! **資産が増えた、と本当に言えるのでしょうか？！** 予算書を確認すると、**固定資産税だけでR2年度とR3年度では、減免含め約2億円もの大減収になる事がわかった**のです!! この中のどれ位がみさき公園に占める割合かは判明しませんでしたが、固定資産税だけですでに約2億円の大減収、**さらに町行政は「収益を見込まないみさき公園」にする方針**なので、公園管理に莫大な税金を、毎年使い続ける恐れがあるのです!!

国から過疎を認定されるほど町の衰退が進んでいるのに、これ以上負の遺産を増やすのでしょうか？！よく「財政が厳しい」と言いますが、より財政を悪くする政治をしているのは、町行政自身です。

現在、みさき公園は収入がないどころか、change! MISAKI vol.7にも掲載したとおり、**管理費用やコンサル業者などに莫大な税金を使っています**。このような町政で、本当に岬町は大丈夫だと思いますか？！

### 松尾ならこうする！



- ① 現町政が閉園・撤去に追い込み、この先も見通せない今最悪の事態。  
この状況を変えるため、私は“新しいみさき公園”的復活に向け、全国～世界の企業へトップセールスに、皆様の“想い”を持ってとにかく動き続けます！
- ② そして長年みさき公園が大切にしてきた“世代をつむぐ価値”を、新しいカタチで実現させ、全国から絶えず人が訪れ賑わう「観光産業の心臓部」とし、そこから町全域へ「人・モノ・金」を循環させて潤す、住民の“誇れる町のシンボル”を目指します！

Check②

税収激減

町のふるさと納税に未来はooo



岬町は「他市町村への自由なふるさと納税」を住民に抑制か?!

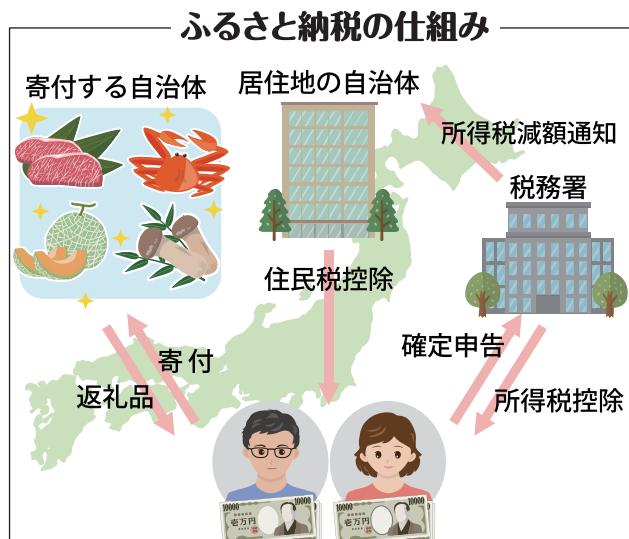
真の“協働”で、全国から寄付が集まる魅力ある返礼品づくりを!!

松尾

町税の損失になっている「ふるさと納税」  
寄附額が大幅に激減しているが、今後  
どう対策をするのか?

町の  
回答

企業版ふるさと納税の導入や道の駅みさき  
と協力し、地域振興につながる返礼品を創  
意工夫し、ふるさと納税を確保したい



岬町の財政が危険信号を示している要因のひとつとして驚くほどの減収となっている「ふるさと納税」があげられます。広報岬だよりR2年12月号掲載の記事によれば、ふるさと納税の収入は、H29年度には約9億9827万9千円もの納税が、R1年度では約862万5千円で、なんとその差額は、**9億8965万4千円もの超減収・大損失となっている**のです!! また「岬だより」に掲載されていた内容は驚くことに「岬町民が他市町村へふるさと納税を行うと、町の税収は町に納められる住民税から控除される分が減少する」と言い、岬町民は他市町村へふるさと納税を行わないで!と町行政は誤った誘導をしたのです!!

ふるさと納税は国の制度であり、国民の権利として自由

に利用できるからこそ、魅力ある返礼品がある市町村は全国から納税者が増え、町が潤っているのです。返礼品の品数と魅力を高めることが税収を上げる正しい政治なのに、それができない町行政が住民へ利用を抑制させる働きかけをするのは、マイナス志向の間違った政治です。

町行政だけでは魅力的な商品開発はできません。ふるさと納税がたくさん集まる市町村の多くは、企業や住民とのタイアップがうまくできています。つまり**町行政も、企業や住民との本当の「協働」が絶対必要**なのです! 企業のノウハウと、岬町をよく知る住民からのアイデアが、魅力ある商品開発にとって重要なのです。そしてそのコーディネート・サポート役として、企業や住民を支え、意見をまとめて具現化することが行政の役割であり、これこそが真の協働の姿だと、私は議会で議員となった時から絶えずそう町行政へ提言してきました。

本当の「協働」が岬町はできると思いますか?! このような状態を続ける町政で本当に大丈夫と思いますか?!



松尾ならこうする!

- ① ふるさと納税の返礼品は、今やその市町村の“顔”。商工会や観光協会など町の各種団体と連携し、その“顔”をつくる企業・お店・住民の皆様と“岬町らしい唯一の”返礼品開発を行える「協働」環境を創ります！
- ② 返礼品は「モノ」だけでなく、岬町に来て「釣り体験」や「古墳ツアー」など体験を提供する「コト」の商品化も進め、納税者が来町しさらに町でお金を使う仕組みをつくり、新鮮で魅力ある“選ばれる”返礼品づくりを進めます！
- ③ 返礼品は作るだけでは選ばれません。岬町のPRと共にプロモーションムービーなどで“良さ”的訴求と、販路拡大により、岬町への納税者を増やします！



## Check③

独立採算では  
大赤字の

# 深日-洲本航路事業に先はあるのか！

3年事業した結果「大赤字」なのに今後も多額の税金投入か？!  
「ふるさと納税は町税ではない」との町の主張にア然

松尾

3年間事業を実施した結果、独立採算では大赤字の「深日-洲本港航路事業」。国や府の補助金が見込めないR4年度も事業を見直さず、多額の町税を使って行うのか？

町の回答

必要運航経費など内容を協議し、必要となる財源の確保についても併せて検討する

皆様は、深日港航路再生事業の効果を実感していますか？！私は全く感じられません。なぜなら岬町の企業・お店などが恩恵を受けたという話を全く聞きません。それもそのはず、change MISAKI vol.6 でもお伝えしましたが、行った結果の様々なデータ分析から、**利用客のほとんどが他都市へ行く目的でこの航路を利用しており、岬町は通過点で「お金を使われていない」岬町が「目的地になっていない**のです。これではいくら続けても町は潤わないし、**費やした莫大な税金は「無駄遣い」と言わざるを得ません。**

そんな中で、R3年度も事業を見直さず、今までと同じように行うのか？！を問いました。町行政は明確な答えを避けましたが、しかし経費について「船料収入、国の交付金、洲本市、岬町からの負担金で運航し、**岬町の負担は町税を使用せず、深日航路再生へのふるさと納税を活用している**」と驚くべき回答が！！

皆様考えてみてください。ふるさと納税も町に納められれば立派な町税です。またふるさと納税は使用用途を納税者が指定できるシステムですが、返礼品の魅力づくりやPRがほとんど出来ていない岬町は**納税額が激減している**のです!! これはP3でお伝えした通りですが、このように**真実を直視せず間違った認識を持った町政では、近い将来、財政難・危機的状況に陥ることが予想**されます。

また、3年間で3万5297人の利用があったことを、にぎわいづくりの効果があったと町行政は発言しました。しかし、**1日に換算すると、わずか32人しか利用がなく、現在の乗船料だと1日5万円にも満たない収入**なのです!! これでは1日8回運航する船の経費や人件費すら捻出できていないのに、**これの一体どこがにぎわいをつくり、町を活性させたと言うのでしょうか？！**

**R3年度もこの事業に3,042万2千円もの税金を費やす**ことが決まりました。今や町長は、災害時の活用として利用すると発言を変えてきています。しかしそれも、災害時に活用するには普段からたくさんの人利用があり、独立採算で事業が成り立っているものでなければ継続は不可能です。これでは、**利用客がなくて事業を継続できないから航路が廃止になった過去の経緯と同じ結果となることが明らか**です。このまま今の町政に任せて、岬町は本当に大丈夫と思いますか？！

## ▶▶▶ 松尾ならこうする！

- ① 深日港を活性させるためには「航路再生」ではなく、岬町を“心に響く魅力ある”「旅の目的地」とすることに注力します！
- ② 海・山などの自然や、関空や各都市部へのアクセス抜群な環境、また空き家・休耕地など町の課題も「資源」ととらえ、その豊富な「資源」を活用して町外から「人」「モノ」「お金」を呼び寄せて町内に巡らせ、潤す仕組みを、住民（お店や企業も含みます）の皆様と共に創ります！
- ③ 具体的には、「特産物」や「お土産」の開発、空き家を使った魅力あるお店や宿泊施設の整備、また町の豊かな自然や資源を活用した体験型観光ツアーなど「旅行の商品化」などにより“行ってみたくなる岬町づくり”を進めます！

## Check④

# 深日港の活性化は1日だけで良いのか！



たった1日で550万円の税金が使われる深日港フェスティバル。  
「経済効果を求めるない」方針で8年行い、港周辺は活性したのか？！

松尾

「深日港地域の活性化」の名目で毎年開催する深日港フェスティバル。8年間開催も今だ地域に賑わいを生めていない。1日約550万円もの町税を費やし実施するが、今後も事業を見直さずに行うのか？

町の回答

深日港の魅力と災害時の役割を周知し、にぎわいを取り戻すために開催するが、経済効果を求めて開催するものではない



人通りも少なく寂しい様子の深日港駅周辺

これまでに8回行われた深日港フェスティバル。たくさんの団体やお店が協力し、ステージ演出や大型船のチャーターなど、当日はとても賑わいを見せますが、そのイベント1日に、約550万円もの税金をかけています。それなのに、近隣の寂れた現状は、イベントの意味をなしているのか？日常の草の根政策も始めながら事業を見直さないのか、問いました。

町の回答は上記の通りですが、ここでも「経済効果を求めて開催するものではない」と驚くべき回答が。経済効果を上げず、どうやって地域活性をさせるのでしょうか？！

航路や港が栄えるのは、そこへ行きたいと思える「価値」がありそこが「目的地」となるから人がやってくるのです。

多くの税金を使って周知しイベントを行い、たった1日だけ人が来ても、それは地域を活性したとは言えません。多額の税金を使ったイベントは、その場限りの打ち上げ花火であってはダメです！過去をしっかりと検証せず今後も同じことを繰り返すだけなら、税金の無駄遣いと言わざるを得ません。このような考え方の町政に任せて、岬町は本当に大丈夫と思いますか？！

- ④ それにはまず、独立・起業やボランティア活動など、自分のため町のためにチャレンジし活動する「人」を増やし、それぞれの“夢”“生きがい”的実現に向けてあらゆる方策にて町をあげて全力で応援する環境を整えます！
- ⑤ 地域活性化に向け、深日港だけでなく町全域で、住民・お店・企業の皆様と共に目的や目標各々の役割を明確に掲げ共有し、達成に向け様々な手段や方策を日頃から話し合い実施行動する、真の「協働」の環境を創ります！
- ⑥ その基軸として、観光協会や商工会など町の各種団体と連携し、DMO（観光地域づくり法人）を設置し、住民・お店・企業・行政が一体となって“行ってみたくなる岬町づくり”と岬町のPR・プロモーションに全力を注ぎます！
- ⑦ “行ってみたくなる岬町づくり”により、自分たちの力で観光産業を発展させて、岬町内に「仕事」「雇用」を創出し、“行きたい住みたい岬町づくり”を進めます！
- ⑧ 岬町を目当てにやって来る人がたくさん増え、賑わいが生まれた時点で、全国から岬町へ船でやって来て停泊し賑わう「海の駅」を創り、日常のまちづくりとの相乗効果になるイベントを協働により定期的に開催したり、海上ルートなど新たな航路の開拓、遊覧船など観光船の検討など、“町の価値を一層高める動き”を絶えず継続し進めます！



Check⑤

## 財政悪化の中、税収増の政策ないのに減税か！

超過税率引き下げは良いが、毎年減収する7100万円を補う対案は無し!! さらに財政悪化で、未来に膨れ上がる“つけ”

岬町は、財政の改善を行うためにH19年度から固定資産税の超過課税をしました。そこから段階的に課税を引き下げてきた中、残りの0.1%を今年度より解消することとしたのです。

町の見解は、「コロナ禍による家計の負担を軽減するため」という、住民負担軽減という観点からとしておりますが、一方で「超過税率廃止に伴う財源対策は、総合計画や実施計画に沿って新たな改革プランをR3年度中に作成したい」とも発言がありました。つまり、**減税して税収が減るが、その減った分をどう取り戻すかの方策はなく、これから考える！という、あまりにもずさんで無計画なことを行ったのです**!! この時期に聞こえの良い超過課税の減税をして、秋の町長選挙を見据えた住民に対するパフォーマンスか?!とも取れるこの行為。

**現町政により、岬町にやって来る「人」や「お金」を激減させ、若年層の町外流出から人口激減、超高齢化、そして財政のひっ迫…負のスパイラルをつき進んでいます。**みさき公園の閉園や海風館の無期限休館などの企業の撤退、町内商店や事業者の減少・衰退、町内での仕事や雇用の機会喪失、観光人口の激減、産業の衰退など、これらは間違った決断や解決政策のない、問題の先送りを繰り返している町政の結果が引き起こしているのです。**さらに今回の減税で、問題の先送りを1つ増やしたのです。**

私は、超過税率引き下げに反対しているのではなく、ひっ迫する町財政の中、**この減税により約7,100万円の税収減を補う案がない、町政の姿勢に問題提起しているのです。**

今は良くても、現町政の待つ未来は、財政破綻による福祉や教育、仕事や雇用の先細りによる**町のあらゆる生活基盤が低下した「住みにくい町」「住めない町」そして「町の消滅」へと向かいます。**

**現状維持では今や町は衰退する時代。**そんな中、結果の出せていない「みさき公園」や「深日航路再生」などの事業に、莫大な税金を投入し続けています。

「財政改革で定めていた目標を上回った」とも町は言います。しかし**新たな財源確保の独自政策が乏しいこと**そして**コミュニティバス事業の毎年の高騰、みさき公園事業や深日航路事業など、逆に改悪や大赤字の事業が多く、逆に財政をひっ迫させ、先の財政を不透明にさせている**のです。

今後約7,100万円を毎年上回る効果額を、今の町政でねん出できるとは、到底思えません。

このまま今の町政に任せて、岬町は本当に大丈夫と思いますか？!

## 松尾ならこうする！

① 現町政の、未来に負担をかける無責任な政策や先細りする国や府の交付金に頼りきる政治を見直し、**自分たちで町をつくり価値を高める“岬町創生”の取り組みを始め、そこから「来る人」「住む人」「活動する人（企業）」を増やすことで税収を安定させて財源をつくります！**

② そしてその財源にて、**住民福祉や町の生活基盤の向上、生きがいづくりへ惜しみなく投資します。**さらに「住みたくなる・住みやすくなる町」とは何かを常に考えその実現に向け戦略的行動し、**住民の皆様への還元と、さらなる交流・定住人口の増加を目指します！**

③ 私の理念「みんなでつくる循環型まちづくり」で、**町の“自力”を高め**続けて財政を優良にし、“つけ”をつくらない・残さない、**今も未来も“住民がつくる、世界に誇れる岬町”の実現を目指します！**



次回  
6月議会

# 6/1(火) 松尾が本質を問う

議会を傍聴  
できます！

議会内コロナ感染症  
対策中

## ① 役場組織の旧来体質の改善を！（予定）

なぜ未来有望な若手町職員が今、どんどん辞めていくのか？！

悪しき根源はどこに？！町組織の“現実”から“組織改革”を問う!!

## ② 町の教育環境の未来は大丈夫か？！（予定）

- ・コロナ禍でも?! 中学1年2クラス制で、1クラス満員の40人？！
- ・町の“GIGAスクール構想”は正しい未来を描いているかを問う!!

## ③ コロナ対策とワクチン接種、大丈夫か？！（予定）

## ④ 結局みさき公園、どうするの？！（予定）

●6/1(火)10時～議会開催!!

●傍聴方法：岬町役場3F・議会事務局にて申込後、職員が案内します

※新型コロナ感染症対策により、傍聴人数が多い場合は議会内への入場を制限する場合があります



## change! MISAKI を届けています

一軒一軒、住民の皆様のもとへ、私たち親子が直接ポスティングに伺っています。またボランティアの方々のおかげで、全域を配ることができていますこと、本当に感謝しています!! 私たちを見かけたら、気軽に声をかけていただけますと嬉しいです !!

※過去の change! MISAKI をご希望の方は、ご連絡ください!!

松尾は黄色のバイクで配り回っています！



## 許せない！ 町首脳や議員が意図して虚言を吹聴か？！

今回の深日港フェスティバルに対する私の町行政への提言に、反対する町行政首脳や幹部、一部の議員もが「松尾が商工会や観光協会の批判をしている」と、商工会や観光協会の皆さんへ、事実を捻じ曲げ別の意図を持って虚言を吹聴するという、許せない出来事が発覚したのです！ 議事録を見れば明らかに虚言だとわかるのに！です。

私はこのイベントを毎年手伝っており、また商工会や観光協会でのイベント、さらに私自身でも実際に観光産業の構築のための活動を積極的にしています。そして、だからこそ見える様々な町の課題とその解決方法について、誰よりも議会で提案し「真の協働」を提言してきた自負があるのに、私がそういうことを言うはずがありません!!

公職に就く者が、意図して虚言を吹聴することは、断じて許されない行為です。町長選挙が近づいている今、意図して事実でない嘘の情報を世間へ吹聴する人がいることも、残念ですが見受けます。

町に様々な噂が広がっていますが、皆様も一方からの情報をうのみにせず、必ず様々な手段にてその情報の「真意」を確かめるようにしてください！！ みんなで“正しい選挙を行う町”をつくりましょう!!

# 意見交換会を開催します！

どなたでも  
ご参加自由

下記の日程で、議会報告を含めて、住民の皆様と意見交換会を行います。皆様の“声”をお聞かせください！

※感染症対策のため、入場者数を制限する場合等があります。ご協力をお願いします

## 開催日程

7月10(土) <sup>AM</sup>	10時～	望海坂第1集会所
	18時～	たんのわ海浜会館
11(日) <sup>AM</sup>	10時～	深日会館
13(火)	19時～	さくら会館
14(水)	19時～	16区集会所
16(金)	19時～	17区集会所
17(土) <sup>AM</sup>	10時～	14区集会所
	18時～	青葉台みさき台集会所
18(日) <sup>AM</sup>	10時～	岬の歴史館
20(火)	19時～	文化センター
21(水)	19時～	港会館
26(月)	19時～	小島集会所

コロナウイルス感染状況を鑑みて開催を延期等する場合があります。その場合、「松尾 匠 NEWS」へご登録の方へは、延期等のお知らせと次の日程等をお送りしますので皆様のご登録をお願いします！

## 「松尾 匠 NEWS」

「町政の真実」等、町の情報を、Eメール等でお届け！  
また「報告会」等のご案内も！

Eメール  
で申込

[mail@t-matsuo.net](mailto:mail@t-matsuo.net)

フォーム  
で申込



電話  
で申込

☎ 072-494-0063

## 意見交換会の テーマ（話題）を募集します！

上記日程で行う意見交換会で、取り上げてほしい「テーマ」を、皆様からお待ちしております！  
町政のこと、議会のこと、教育のこと、岬町の様々なこと、または松尾のことでも。  
「疑問」に思うことや、様々な「意見・要望」など、関心を持たれていること、何でも結構です！  
様々な情報が町に飛び交っていますが、公的立場の人が、事実と異なる情報を、意図的に吹聴していることも、実際に見受けられます。一方的な情報をうのみにせず、別の角度でその情報が本当かどうか、「真実を確かめる」機会にしていただければ幸いです。

### 1 応募方法を下より選択

URL  
から送信！

[http://t-matsuo.net/  
index.php/mt2021/](http://t-matsuo.net/index.php/mt2021/)

QRコード  
で送信！

スマホのQRコードリーダー  
で右のQRコードを読み取り  
「送信フォーム」の必要項目  
を入力し、送信してください



Eメール  
で送信！

[mail@t-matsuo.net](mailto:mail@t-matsuo.net)

電話  
で！

☎ 072-494-0063

### 2 内容を送信

① 聞きたいこと  
ご要望  
話題にしてほしいことなど

② 参加される日程  
(上の開催日程より選択)

③ ご年齢・性別

送信

もしくは ☎ で！